

2023年12月28日

報道関係各位
プレスリリース

大豊産業株式会社

大豊産業と FOMM が「モビリティおよびバッテリーの活用による包括的な地域創生モデルの共創に関する覚書」を締結。国内外での事業共創に向けて連携。

大豊産業株式会社（本社：香川県高松市、代表取締役社長 乾 和行、以下「大豊産業」）は、株式会社 FOMM（本社：神奈川県横浜市、代表取締役 鶴巻 日出夫、以下「FOMM」）と「モビリティおよびバッテリーの活用による包括的な地域創生モデルの共創に関する覚書」を締結いたしました。

大豊産業は、省力化・インフラ整備・新エネルギーなどの分野で価値を創造する、トータル・エンジニアリング企業です。四国電力グループ、大手化学工場、石油精製工場、原子力発電所、製紙工場等を顧客とし、制御・計装機器の販売や保守、電気・通信・土木工事を行なっています。近年では、畜産業界向けに自動走行・監視ロボットを自社開発するなど、ロボティクスを始めとした新規分野への投資を積極的に行い、2023年4月7日にタイ、バンコクに新たな事業所を開設いたしました。

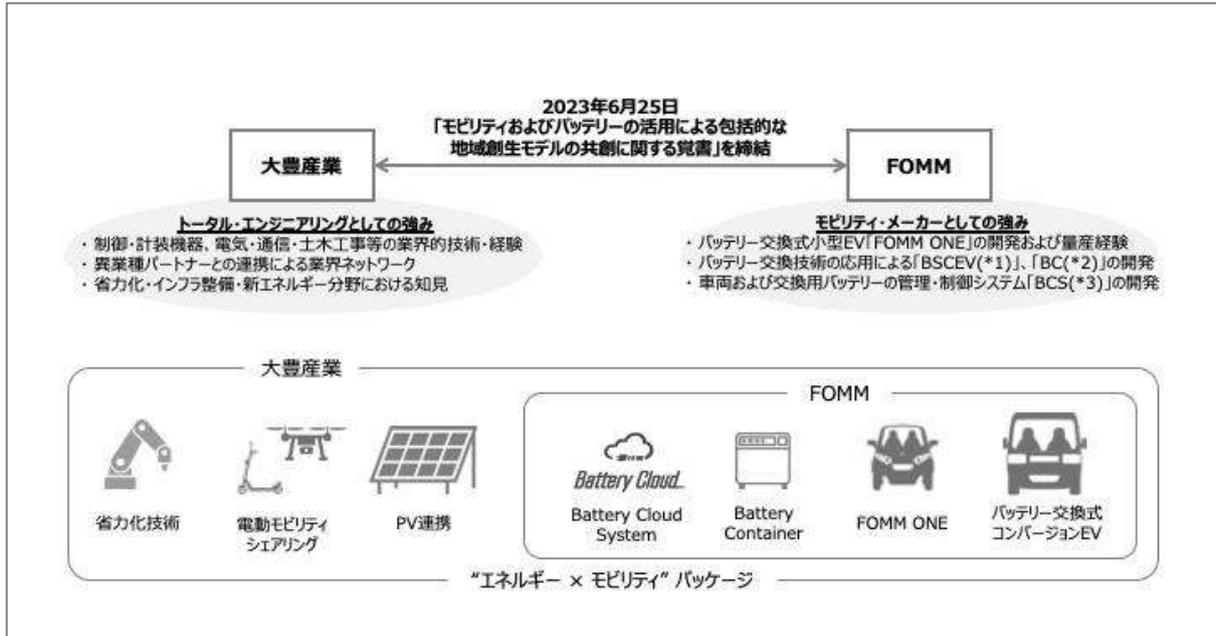
FOMM は、独創的な発想で小型 EV の企画・開発やモビリティに関連する技術やサービスの企画・開発を行うモビリティ・メーカーです。2019年よりタイの自社工場オリジナル小型 EV 「FOMM ONE」の量産を開始し、2021年からは日本国内でも受注販売を開始しております。

同年には、車両に搭載した小型カセット式バッテリーの交換により短時間で給電を完了する「Swapping Battery System」等の独自開発技術を活用し、環境省が実施する実証事業に採択されるなど、活動の場を広げてまいりました。

この度、両社は、「モビリティおよびバッテリーの活用による包括的な地域創生モデルの共創に関する覚書」を締結し、それぞれの強みを活かした共同での事業構築およびこれら事業モデルの国外への輸出に向けた連携を進めることに合意いたしました。

大豊産業は、本年6月に「FOMM ONE」を6台導入し、四国内に有する5ヶ所の自社拠点に配備するとともに、高松支店において交換バッテリーを活用したソーラーカーポートの設置を進めております。

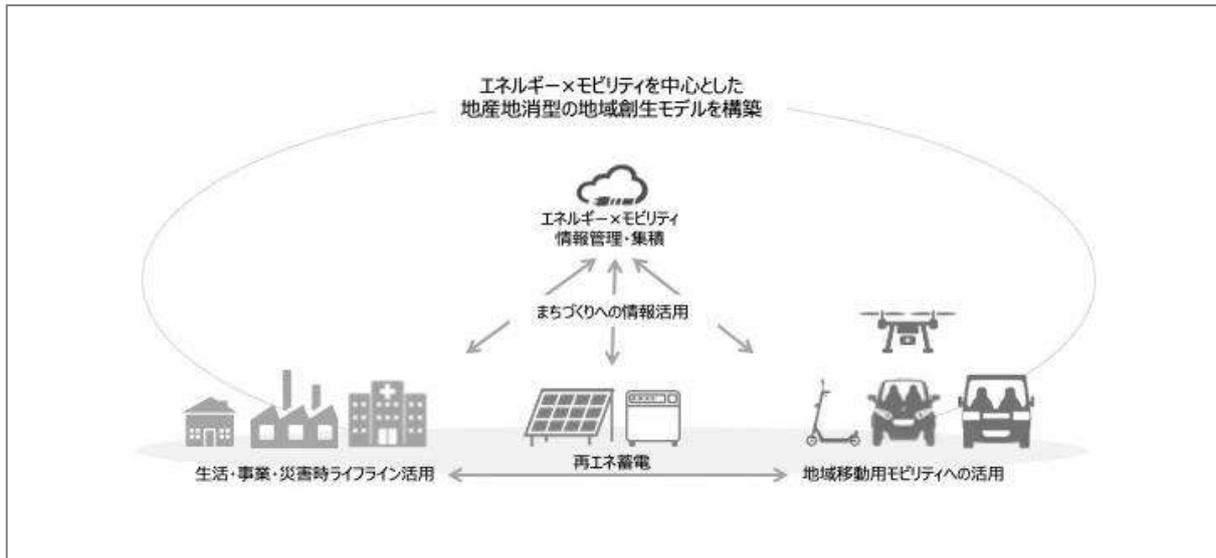
今後、大豊産業と FOMM は、両社の技術および知見の活用による地域創生に向けた共創を進めるとともに、これらの共創モデルを国内外に向けて展開すべく、連携を図ります。



(*1) BSCEV : 「Battery Swappable Conversion EV (バッテリー交換式コンバージョン EV)」

(*2) BC : EV 用バッテリー活用による外部給電装置「Battery Container」

(*3) BCS : EV および交換用バッテリーのクラウド管理システム「Battery Cloud」



(図) 大豊産業と FOMM による連携イメージ

香川県高松市屋島山上で行われた調印式の様子



左から、大豊産業 代表取締役社長 乾和行、FOMM 代表取締役 鶴巻日出夫（敬称略）

FOMM ONE（撮影場所：屋島山上）



左から、大豊産業 専務取締役 神野孝博、大豊産業 代表取締役社長 乾和行、
FOMM 代表取締役 鶴巻日出夫、FOMM 社長室 兼 Mobility 事業本部長 佐藤俊
（敬称略）

FOMM ONE 6台（大豊産業・高松支店）



ソーラーカーポート・Battery Container（大豊産業・高松支店）



■ 関連リンク

大豊産業	http://www.taihos.co.jp/
FOMM	https://www.fomm.co.jp/

■会社概要

大豊産業株式会社

設 立	1949年10月
代 表 者	代表取締役社長 乾 和行
U R L	http://www.taihos.co.jp/
所 在 地	香川県高松市寿町1丁目1番12号パシフィックシティ高松ビル9階
事業内容	昭和24年に高松市御坊町で電気機材卸売業として産声を上げ、四国電力グループを主要取引先として、インフラ整備の安定供給のための電機・通信・土木機材をサポートしてまいりました。一方、横河電機他、計測制御分析機器メーカーの販売代理店・サービス代理店として、四国内外に営業ネットワーク13拠点を配し、大手化学工場、石油精製工場、原子力発電所、製紙工場などとの取引により、業容を拡げてまいりました。現在では、営業、システムエンジニア、サービスエンジニア、電気・土木施工管理技術者を有するトータル・エンジニアリング企業として幅広い分野・業界でご愛顧いただいております。また、近年では、ロボティクス・ドローン・モビリティといった新領域への取り組みや、タイでの事業展開等、新領域についても積極的に挑戦を進めております。これからも「省力化」「インフラ整備」「新エネルギー・IoT」に関わる「技術力と商品の総合提案力」で四国内での活躍はもちろんのこと、日本全国そして世界へと活躍の場を拡げてまいります。

株式会社 FOMM

設 立	2013年2月
代 表 者	代表取締役 鶴巻 日出夫
U R L	https://www.fomm.co.jp/
所 在 地	神奈川県横浜市神奈川区三ツ沢上町30-18
事業内容	FOMMは、人々の最初の一步となるモビリティ (First One Mile Mobility) を開発し、生み出した製品や技術を世界中に提供すべく、2013年に設立したモビリティ・メーカーです。(1)発想力と行動力を元に、(2)地球環境保全に貢献する技術や製品を生み出し、(3)これらの製品を生産、販売する仕組みを提供することで地産地消型の経済循環モデルを創出し、世界中の貧困を根絶することを経営理念に掲げ、2019年に初の製品となる「水に浮き、移動ができる対水害機能」を備えた小型EV「FOMM ONE」の販売を開始いたしました。「FOMM ONE」に留まらず、「着脱式小型バッテリーによる簡易交換システム」や「バッテリー交換インフラシステム」など、独創的な発想力で新たな技術の開発を進め、モビリティを始めとした幅広い分野において自社の理念を体現すべく日々事業に取り組んでおります。